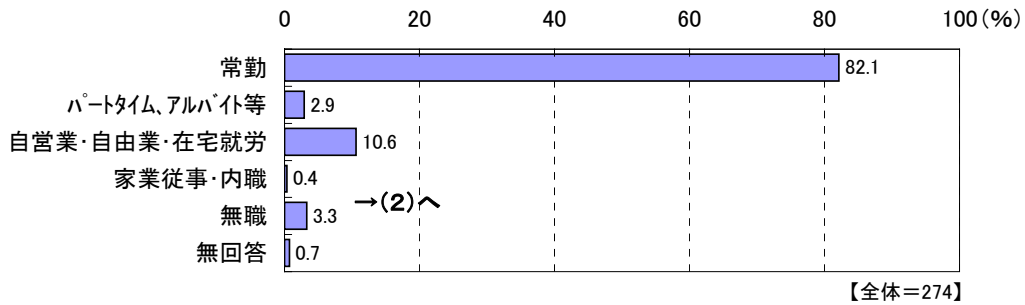


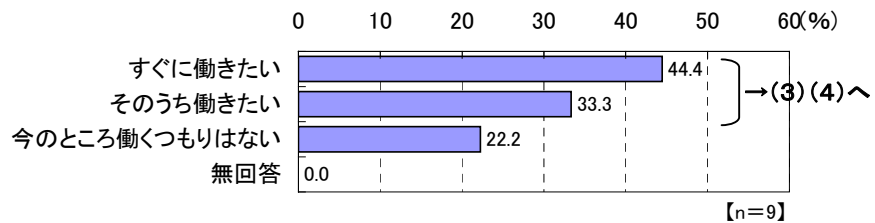
第3部 25～40歳市民

第1章 就労状況

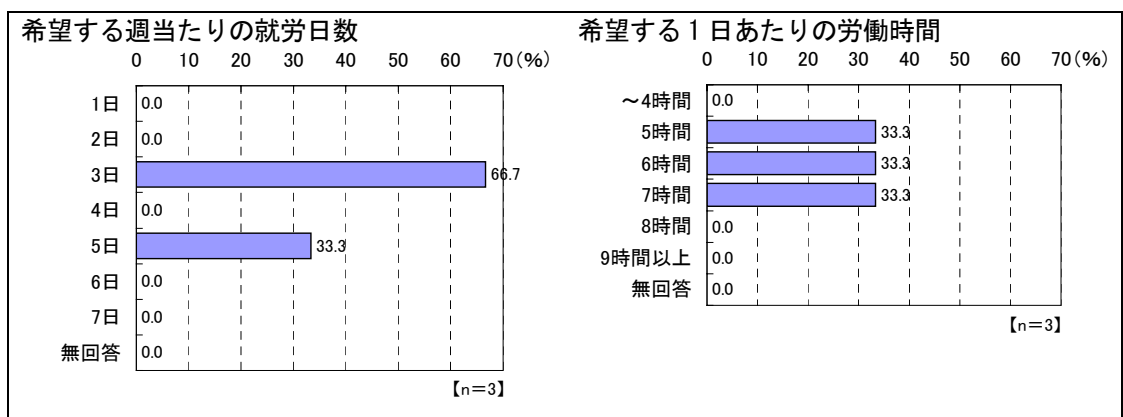
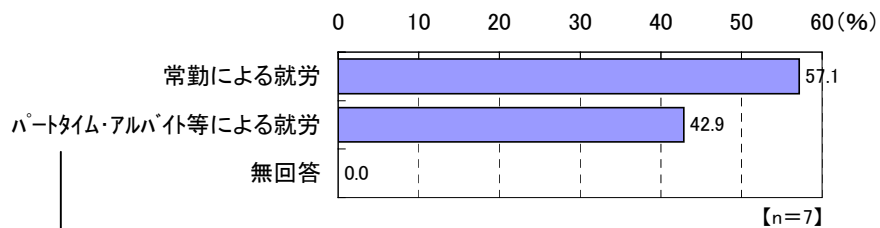
(1) 回答者の就労状況 (Q6)



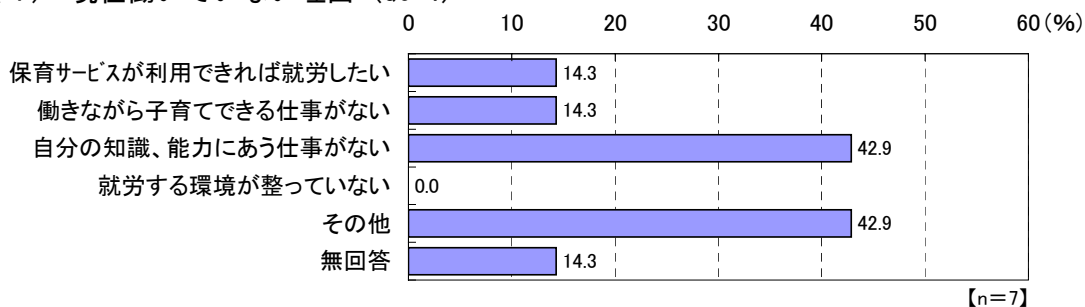
(2) 就労希望 (Q6-2)



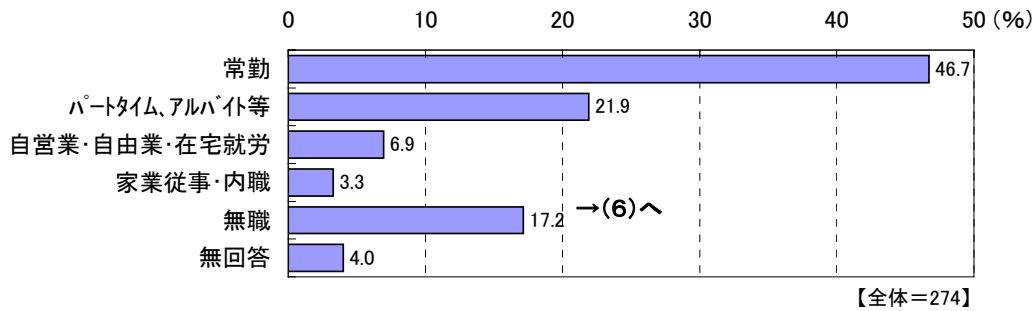
(3) 希望する就労形態 (Q6-3)



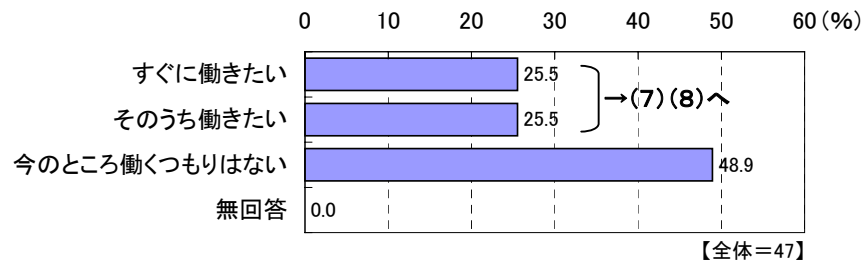
(4) 現在働いていない理由 (Q6-4)



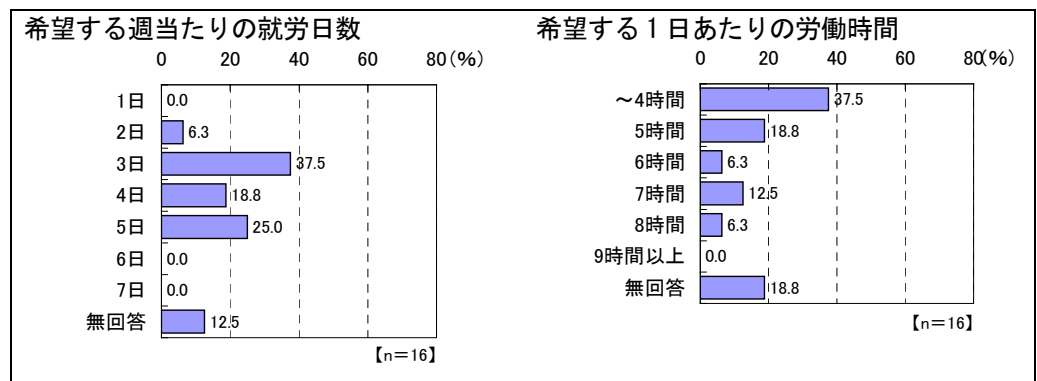
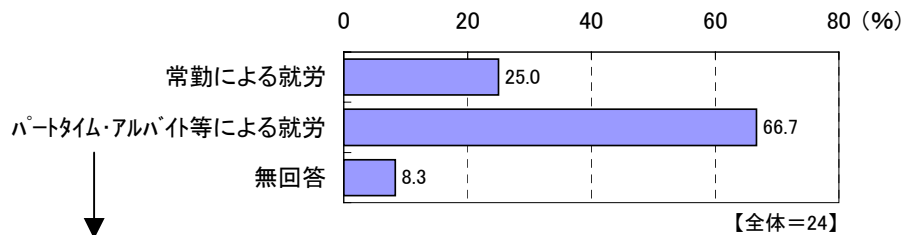
(5) 配偶者の就労状況 (Q7)



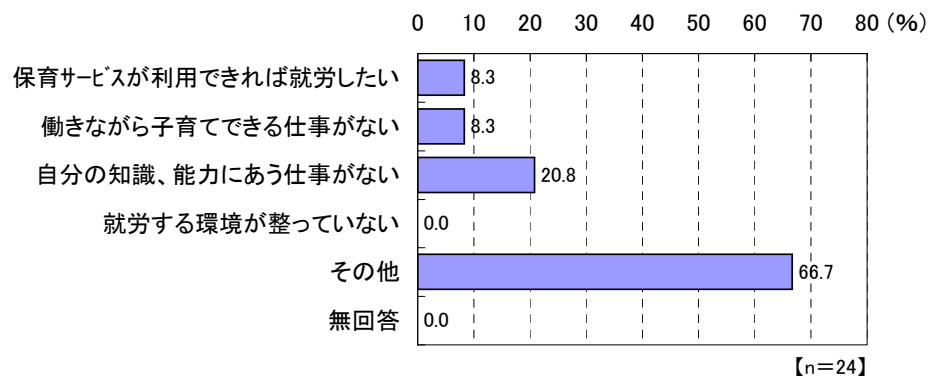
(6) 配偶者の希望する就労形態 (Q7-2)



(7) 配偶者の希望する就労形態 (Q7-3)

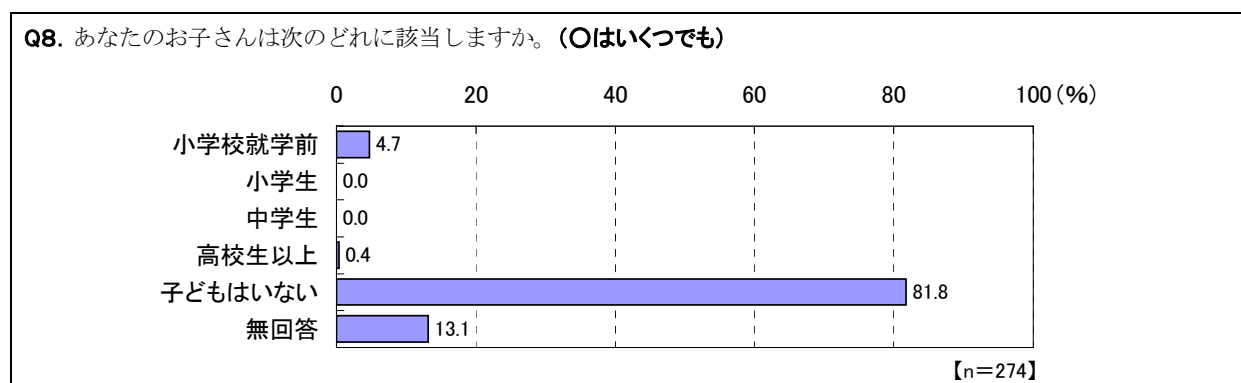


(8) 配偶者の現在働いていない理由 (Q7-4)



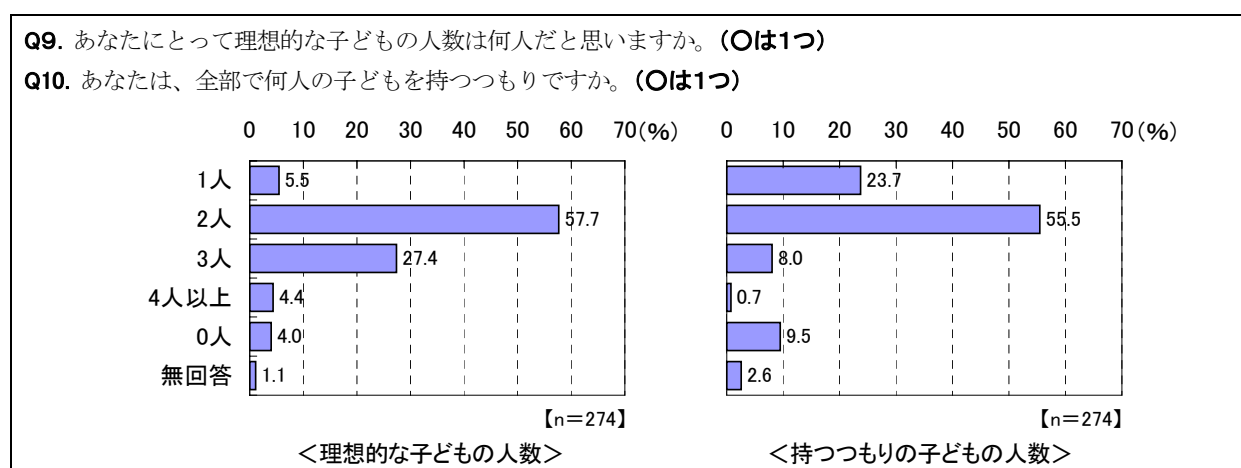
第2章 子育てについての考え等

2.1 子どもの年齢



「子どもはいない」(81.8%)が8割を超える多くの割合を占め、「小学校就学前」の子を持つ親が4.7%、高校生以上の子を持つ親が0.4%で、小学生、中学生の子を持つ親は0%であった。

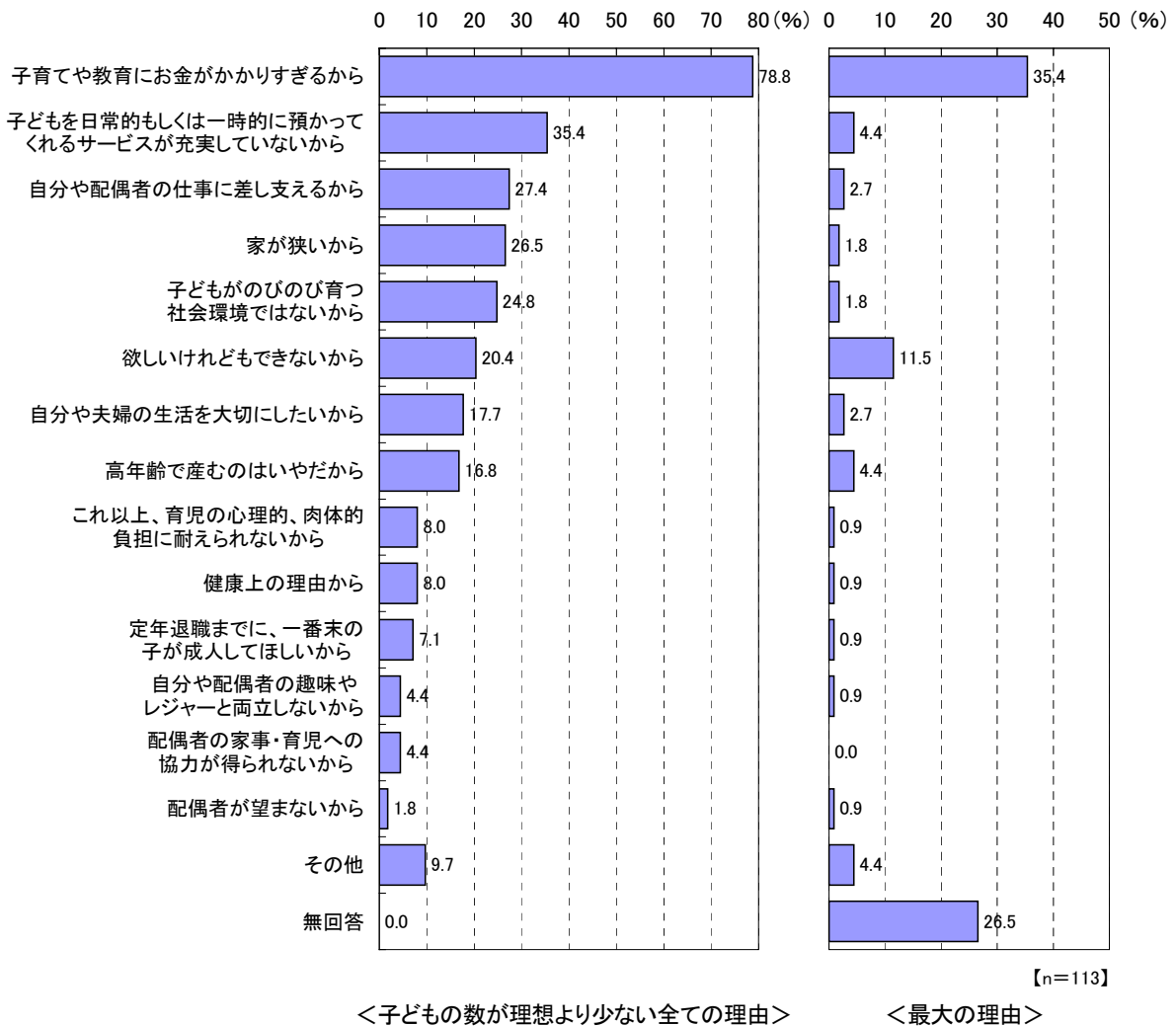
2.2 理想的な子どもの人数と持つつもりの子どもの人数



理想的な子どもの人数は、「2人」(57.7%)が最も多く、次いで「3人」(27.4%)、「1人」(5.5%)の順となっている。一方、持つつもりの子どもの人数でも、「2人」(55.5%)が最も多く、以下は「1人」(23.7%)、「0人」(9.5%)、「3人」(8.0%)の順となっている。

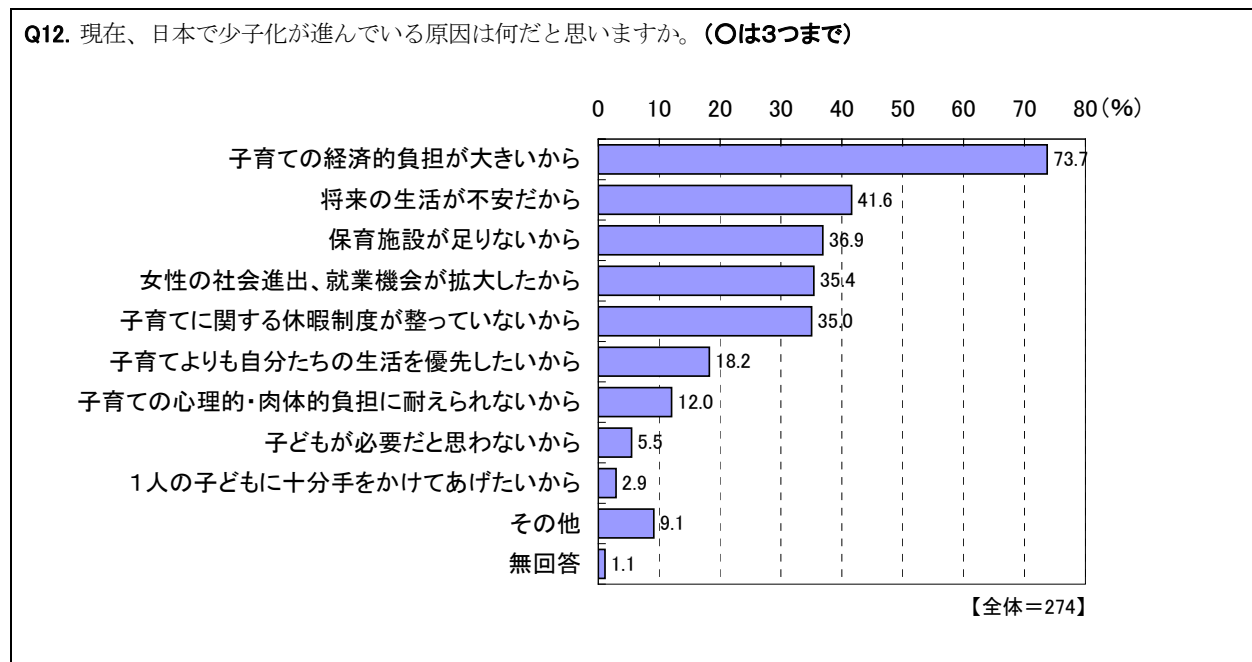
2.3 理想より持つつもりの子どもの人数が少ない理由

Q11. 「理想的な子どもの人数」より「持つつもりの子どもの人数」が少ない方におたずねします。その理由は次のうちどれですか。(あてはまる理由すべてに○をつけ、最大の理由には◎をつけてください)



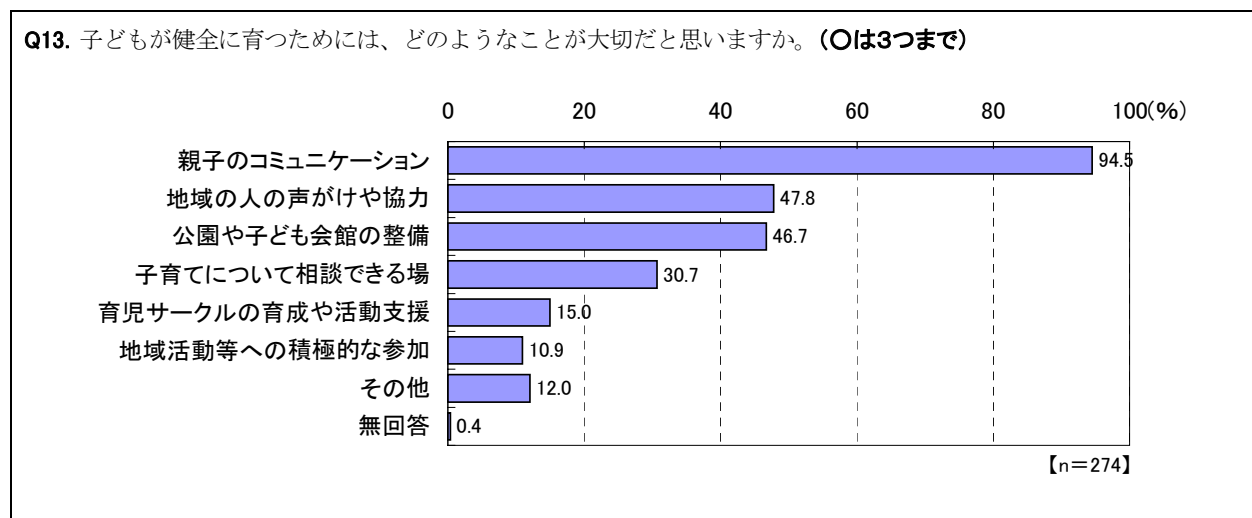
「持つつもりの子どもの人数」が「理想的な子どもの人数」より少ない回答者（該当 113 人）の、その理由としては、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」をあげた回答者の割合が 78.8%で最も多く、さらに「最大の理由」としてあげた回答者の割合も 35.4%と最も多い結果となった。その他の理由としては、「子どもを日常的もしくは一時的に預かってくれるサービスが充実していないから」（35.4%）、「自分や配偶者の仕事に差し支えるから」（27.4%）、「家が狭いから」（26.5%）、「子どもがのびのび育つ社会環境ではないから」（24.8%）と続いている。

2.4 日本で少子化が進んでいる原因



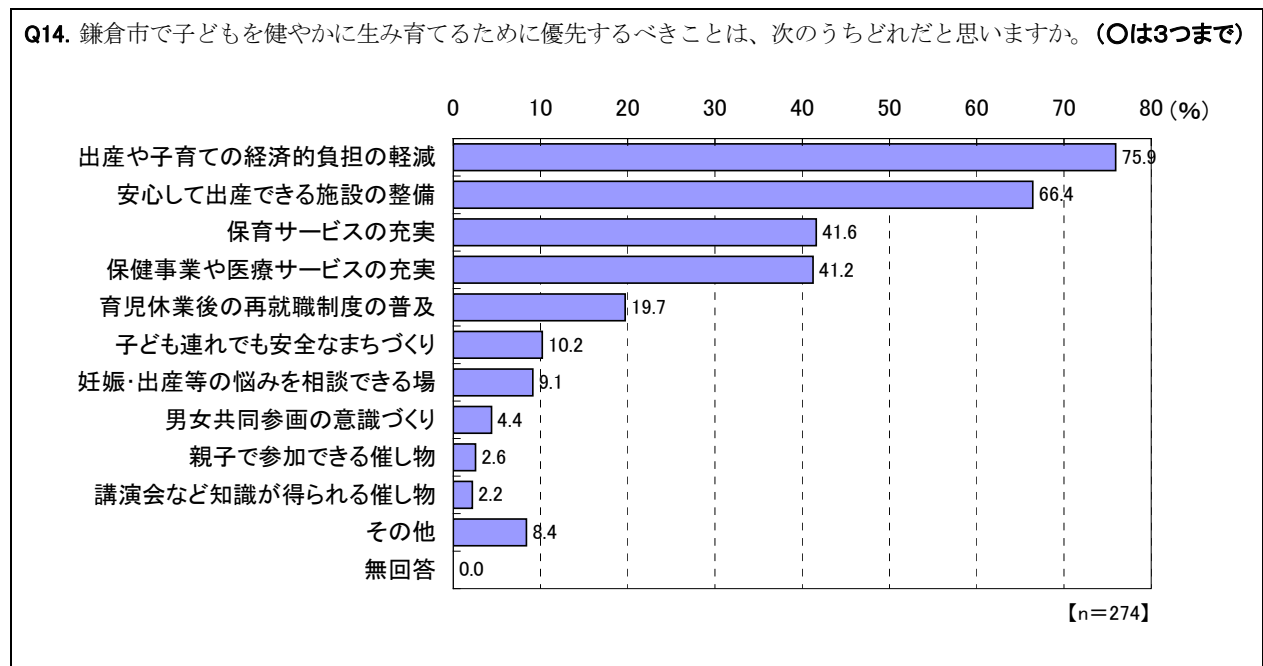
現在の日本で少子化が進んでいる原因として、最も回答が多かったのは「子育ての経済的負担が大きいから」(73.7%)で、以下、「将来の生活が不安だから」(41.6%)、「保育施設が足りないから」(36.9%)、「女性の社会進出、就業機会が拡大したから」(35.4%)、「子育てに関する休暇制度が整っていないから」(35.0%)などと続いている。

2.5 子どもが健全に育つために大切なこと



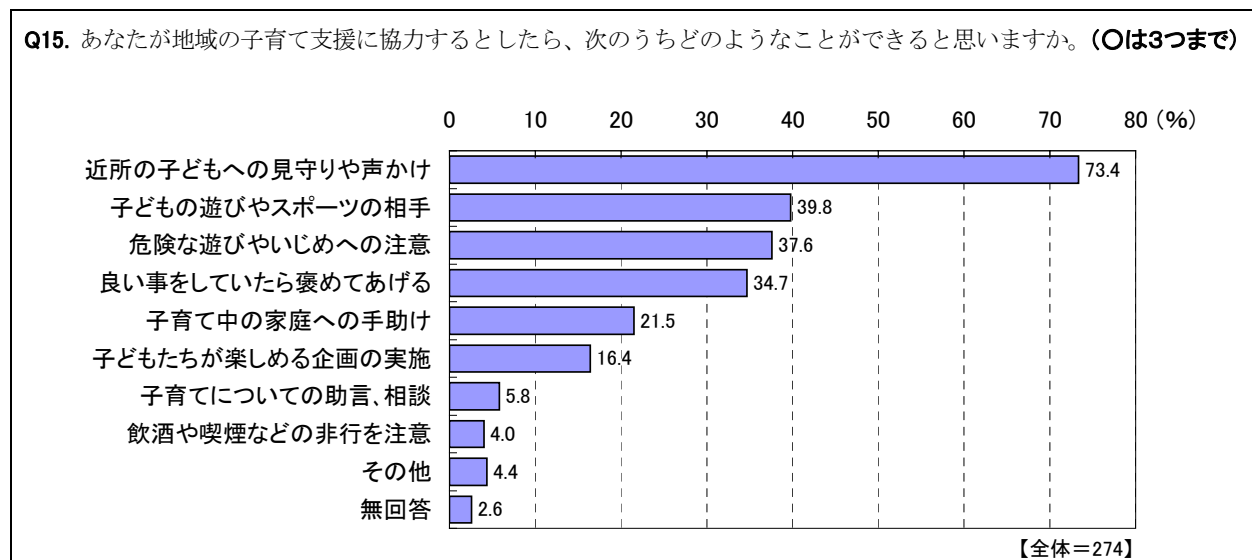
子どもが健全に育つために大切なこととして、「親子のコミュニケーション」(94.5%)をあげる声が多数を占め、以下、「地域の人声がけや協力」(47.8%)、「公園や子ども会館の整備」(46.7%)、「子育てについて相談できる場」(30.7%)と続いている。

2.6 鎌倉市が優先するべきこと



鎌倉市が優先して取り組むべき事項としては、「出産や子育ての経済的負担の軽減」(75.9%)をあげる声が多く、次いで「安心して出産できる施設の整備」(66.4%)、以下、「保育サービスの充実」(41.6%)、「保健事業や医療サービスの充実」(41.2%)と続いている。

2.7 地域の子育て支援で協力できること



回答者が、地域の子育て支援に対して協力できることとしては、「近所の子どもへの見守りや声かけ」(73.4%)が最も多く、以下、「子どもの遊びやスポーツの相手」(39.8%)、「危険な遊びやいじめへの注意」(37.6%)と続いている。